

わしお 勘解治 (1881~1981)  
**鷺尾 勘解治**



**実業家。**兵庫県武庫郡須磨村(現、神戸市)出身。同村の農家で神職の家に生まれる。兵庫県神戸中学校(現、兵庫県立神戸高等学校)、第五高等学校(現、熊本大学)を経て京都帝国大学(現、京都大学)法学部を卒業。第五高等学校時代に見性寺の西山宗徹老師、京都帝国大学時代に大徳寺の菅広州老師の下で禅の修業を積み、明治40(1907)年、住友3代目総理事・鈴木馬左也が広州の居士だった関係から別子鉱業所に入社した。当時の別子銅山は、坑夫暴動の直後であり、勘解治は志願して一介の坑夫として3年間坑内で働き、その体験をもとに私塾「自彊舎」を開いて坑夫教育と共に企業と地域の共存共栄に努めた。昭和2(1927)年、住友別子鉱山株式会社常務取締役就任後、別子銅山の埋蔵量を調査し、約20年で枯渇することを公表。勘解治は、鉱業に代わる地方後栄策を図り、当時の新居郡新居浜町(現、新居浜市)町長・白石誉二郎(初代新居浜市長)に資金援助して新居浜港の築港と海岸部の埋立て、都市計画道路の整備などを行い、また、化学工場の拡張を図り、機械工業を起すなどの産業振興策に力を尽くし、工業都市・新居浜の発展の基礎を築いた。しかし、これら地方後栄策が住友本社の不興を買い、昭和8(1933)年、住友合資会社を依願退職し、退職後は大日本航空輸送常務取締役を務め、岡山県和気郡三石町(現、岡山県備前市)で有限会社五反田クレーン(砕石業)を経営するなどした。昭和28(1953)年、旧知の人々に招かれて新居浜市に転居し、益友会を設立して生涯社会教育に力を尽くした。

産  
業

## 略歴

明治14(1881)年5月10日	兵庫県武庫郡須磨村の神職・鷺尾弥左衛門の長男として生まれる。
明治34(1901)年3月	兵庫県神戸中学校卒業
明治37(1904)年3月	第五高等学校卒業
明治40(1907)年3月	京都帝国大学法学部卒業
10月8日	住友本店入社。別子鉱業所勤務
大正元(1912)年	私塾「自彊舎」を開設
大正11(1922)年1月5日	別子鉱業所副支配人兼労働課長に就任
大正13(1924)年12月20日	採鉱課長を兼務
大正15(1926)年4月16日	別子鉱業所支配人に就任
昭和2(1927)年	住友別子鉱山株式会社常務取締役に就任
昭和5(1930)年1月5日	住友別子鉱山株式会社専務取締役に就任
8月12日	住友合資会社理事に就任
昭和6(1931)年6月2日	住友合資会社常務理事に就任
昭和7(1932)年2月20日	商工業視察のため欧米出張を命ぜられる。
4月4日	住友合資会社常務理事を解任
昭和8(1933)年12月21日	住友合資会社依願退職
昭和28(1953)年8月	旧知の人々に招かれて新居浜市に転居
昭和32(1957)年1月10日	愛媛新聞社賞受賞
昭和37(1962)年11月3日	愛媛県教育文化賞受賞
昭和42(1967)年11月3日	勲五等瑞宝章受章
昭和56(1981)年4月13日	99歳で永眠

(写真提供：新居浜市別子銅山文化遺産課)

### 〈関連図書〉

- ・『鷺尾勘解治翁』 新居浜市 1954年
  - ・鷺尾勘解治『鷺尾勘解治自伝-寺小僧から鉱夫に-』 益友会 1981年
  - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- 〈ゆかりのある場所〉…(P284, 81~82)

### 〈関連施設〉…別子銅山記念館

- 〒792-0844 愛媛県新居浜市角野新田町3丁目13番 TEL: 0897-41-2200
- 広瀬歴史記念館
- 〒792-0046 愛媛県新居浜市上原2丁目10番42号 TEL: 0897-40-6333
- 住友史料館
- 〒606-8431 京都府京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町1-2 TEL: 057-761-7503